

news 88

第11号

2001年10月

株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8
TEL 03-3866-2221 (業務部) TEL 03-3866-2224 (営業部)
FAX 03-3866-2222 http://www.prima-gakki.co.jp/

札幌営業所
〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東9-11-50
TEL 011-219-7121 FAX 011-219-7115

♪ 連弾譜を使って、二人でピアノを
楽しく弾いてみませんか?

佐々木邦雄

この秋、「新・譜めくりのいらぬ連弾」シリーズが発売されます。今回は6冊(全61曲)をリリース。これまで数多くの連弾集を出版しているヤマハから、また新企画による新しい連弾集を出版いたします。連弾は二人で一台のピアノを演奏しますが、ペアを組む二人の組み合わせは、それぞれ千差万別。それら一つ一つに合わせるには、様々な仕様の楽譜が必要になります。そこで私たちは、各種の連弾シリーズを企画し、それぞれのコンセプトを明確にし、いろいろな演奏スタイルや内容で連弾曲集を制作してまいりました。今度のシリーズはその流れの中の最新作です。各冊ごとに曲の音楽のジャンルを分け、目的にあった一冊を手でできるように分類しました。また今回は4手連弾の範囲で出来るだけ弾きやすく、かつ個性豊かな内容と魅力あるサウンドを目指しました。

一曲はそれぞれ見開き2ページで完結する、「譜めくりのいらぬ」スタイル。これが最大のポイントです。「新」の文字があるのは、すでに姉妹楽譜がでているからです。では新シリーズのラインナップをご紹介します。

- 「はる・なつ」
- 「あき・ふゆ」
- 「クリスマス」
- 「東京ディズニーランド」
- 「スタジオジブリ作品集」
- 「こどもポップス」



どの曲集も新鮮なアレンジと魅力あるサウンドでいっぱいです。レッスンや発表会、仲間同士のパーティーやコンサートで、気楽に楽しく弾いてみませんか。ピアノの世界がもっともっと身近になります。音楽の魅力と素晴らしさ、アンサンブルの楽しさをより多くの人たちに味わっていただきたい。そんな気持ちのこもった作品集です。

今月のNEWSな 楽譜 & グッズ

★音楽之友社

●アキ ピアノ教本 ①ふよみとテクニックをたのしく(5~8歳)
菊倍横版 56頁 定価1300円+税 10月上旬発売予定

呉 暁・大社礼子絵

うたとピアノの絵本全3巻の続きとして、長らく待たれていた教本。ソルフェージュ能力とピアノ教育が密接に繋がった内容で、無理なくステップアップ。この巻では右手が音二つ左手一つという最も簡単な両手奏から始めてミドルCから上6音、下5音だけで色々な組み合わせで弾く。

●2002年度 音楽大学・学校案内 短大、高校、専修
B5判 1532ページ 予価4800円 10月下旬発売予定
2002年度の音大、専門学校、高校等の受験生のための総合ガイド。約280校を網羅。入試問題や試験日、試験科目、配点、学費等を収録。

★春秋社

●音楽療法のためのオリジナル曲集 「静かな森の大きな木」
編集 生野里花 二俣 泉他多数 B5判並製 192頁
本体2200円

日本の療法現場で生まれた60曲を多数収録。応用の方法、活動の進め方など詳細な解説付き。たくさんの療法士に口伝えで伝えられた名曲・珍曲(?)・音遊びが一冊の曲集になりました。

●園田判ベートーヴェンピアノソナタ 第3回配本
園田高弘 校訂判 10月初旬発売

- 第16番
- 第17番
- 第18番
- 第26番

今回配本の告別 テンペストは試験の課題曲にも採用される事が多くまた、アマチュアにも人気の名作。必携の楽譜です!

★ヤマハミュージックメディア

●ノードフ=ロビンズセンター編集 「音楽療法のための小品集」
カールフィッシャーライセンス版 予定価格 2600円

日本の音楽療法学会が生んだアメリカのノードフロビンズセンターそのスタッフが製作編集した音楽療法の現場で使用するピアノと歌による小品の楽譜集全39曲

●夢がふくらむレッスンのハンドブック
ピアノのメソッドと副教材
中村菊子著 四六判 192頁 予定定価 2200円
10月下旬発売予定

中村菊子がピアノレッスンの概要、ピアノメソッド、さまざまな教材、さまざまな形式について紹介します。20のメソッドと43の教本、それらのデータとCDの情報一杯!

●ピアノの先生のための楽しいスキルアップセミナー
ピアノのアレンジの謎を解く/大解剖編
春畑セロリ著/A4判100頁 10月下旬発売予定
予価定価 1800円

超入門編だけでは物足りなかった方、もっといろんなケースを解剖してご覧に入れます。

★リットーミュージック

●ピアノスコア 作曲家と出会う 全5巻同時発売
バッハ
モーツァルト
ベートーヴェン
シューベルト
チャイコフスキー
ハンス=グンター・ホイマン著 各巻オールカラー 48頁
K4判 定価 (本体 1200円) 10月19日発売

ドイツ大手出版社 ショット社との提携による、新しいタイプのクラシック名曲集シリーズが登場! 生涯と作品についての解説も豊富です。

★サーベル社

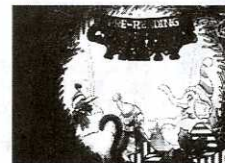
●すぐに役立つ 大人のワークブック3 発展編 一解答付き
著者 遠藤善子 菊倍 56頁 定価 1200円+税

楽譜を理解するための知識を分かりやすく、鍵盤の上ですぐに役立つように考えられたワークブックです。巻末に解答付き。

★(株)東音企画

●バスティン・クリスマスパーティー
Bastin著 定価 (本体650円)

読譜が出来なくても、音名・リズム・指番号だけで弾けてしまうプレレディング譜のクリスマス曲集です。ピアノを習い初めてすぐの生徒さんと一緒に楽しむことができます。



ピアノ指導の現場から

◆◆インヴェンションの前に バロックをひこう◆◆

導入期の学習が終わる段階からまんべんなく各時代の様々な様式の曲を弾いてゆくことが、ピアノ学習にあたって一番大切なことです。これらの曲は、いわゆるバロック期、クラシック期、ロマン期、近・現代、と4期に分けて考えられます。今までこの段階の教材とされてきているものには、テクニックを伸ばすため（特に運指のため）のハノンや一連のチェルニー練習曲、そしてクラシック期への準備としてソナチネ、ロマン期にあたるものとして、グルリットやブルクミュラーがあり、近・現代としては、カバレフスキーやバルトークをはじめとして、邦人の作品も最近では数多く出ています。ところがバロック期の教材は数が少なく、いきなりJ.S.バッハの2声インヴェンションに入っても、ポリフェニク的な書法の音楽の扱いになれていないために、とまどうことが多いようです。そこでスムーズにインヴェンションやフランス組曲にはいる方法を考えていましたが、ここに永年の経験を通して、やっと、これを使えばらくにバロック音楽の学習ができるといった曲集を編集し、出版できる運びとなりました。



武田宏子

最初はごく簡単な2声のカノンから入ります。さらにバッハ、ツイボリー、キルンベルガー、シルコット、フックといった作曲家の舞曲、プレリュード、ポリフォニー様式の準備のための曲を集めました。

バッハをはじめ、この時代の作品は原典版の形にするのが理想的なのですが、それではこの段階の学習者には扱いにくいので、ここでは実用的にと考えて、フレージング、デュナーミク、裝飾音の奏法を書き入れました。しかし、それはひとつの例として受けとめていただき、もし他の方法がよいと思うときには、変更することは少しもさしつかえありません。バッハの解釈は色々その芸術家の見解によって異なるものです。ただ私は、ここではあまりむずかしく考えるより、原則を守った上で、この段階の学習者に無理のない解釈・奏法を、と考慮しました。メトロノームによるテンポ指示についても同様で、その音楽にふさわしい本来のテンポを参考までに書き入れました。また、この曲集では各曲をやさしいものから順番に並べてありますから、それにしたがって進んでいって下さい。

この曲集を弾き終わったらインヴェンションにらくに入ることができると思います。バッハの入門曲集として活用され、皆様のお役に立てば幸いです。

プロフィール

毎年コンペ予選に250名の参加者を迎えるピティナ香川支部の支部長として運営に携わる一方、本部課題曲選定委員（Aグループ）として尽力。過去4年間にコンペ・ステップなどへ101名の生徒が参加。審査員・アドバイザーとして12地区訪問。門下生が指導者として各地で活躍中。著書にバロックをひこう、古典派をひこう、ロマン派をひこう（音楽之友社）他多数。



バロックをひこう
(音楽之友社)
1,400円（本体価格）

～連載～ ピアノレッスンの今後

Music Key Lesson レポート

岩瀬洋子・田村智子

暑かった夏も過ぎ、待ちに待った「芸術の秋」がやってきました。多分この原稿が読まれるころはすでに運動会も終わり、一段落のところではないかと思えます。今回は毎年のことながら、学校行事真っ只中のレッスンについてお話したいと思います。

9月の前半は夏休みの疲れやプール、それに運動会の練習も加わり、子供達は疲れのピークです。レッスン室に入るなり、床に座り込むSちゃん、小学3年生。「どうしたの～？Sちゃん。」「も～やだ～。くたくた。」学校のプールがあったようで、髪の毛も濡れているのか汗なのか、なんともレッスンができる状態ではなさそうです。本人バックを開ける様子もありません。それどころか、ぐた～と床に寝転んでしまうほどの疲れよう。内心、このままお昼寝でもさせてあげたい気分にもなります。でもこんなに疲れていても休まずピアノのレッスンにきてくれたSちゃん。教師冥利につきます。オヨヨヨ。と、感激ばかりはしてはいられません。そこで「Sちゃん、お顔洗ってらっしゃい！さっぱりするから…」洗面所から戻ってきたSちゃんのお口に「おまじな～い！ポイッ！」とすばやくさわやかキャンディーを…。ピクリしたSちゃんですが、すぐにお口の中のキャンディーに、にっこり。「さっ、おけいこしょ～か。」「ウン」その後のレッスンはとても楽しくできました。たまには甘～い給もいいですよ。大切なことは子供達の今の状態や気持ちをもまず切り替えてあげることだと思います。あのままの状態でもSちゃんを叱咤激励しながらレッスンを進めることもできたかもしれません。でもなんとも憂鬱な時間だけが過ぎていく、これって生徒はもちろん教師にとっても辛いレッスンですよ。年齢を問わず色々なストレスを抱えて教室に通ってくる生徒が最近増えてます。せめてレッスンにきた時だけは、ホッできる空間を用意してあげたいと思っています。ミュージックキーでは部活や受験勉強で疲れ気味の大きな生徒にも、たま～にキャンディータイムをもちます。キャンディー一つで生徒達の心は和むのか、普段口の重い生徒まで学校の出来ごとや、自分のことなど話してくれることがあります。そんな日頃気づかない生徒の一面など見せてくれる、不思議な力を持つ「キャンディータイム」をこれからも大切にしていきたいと思っています。

☆☆☆講座のご案内☆☆☆

- 魅力的なピアノ教室実現のための
「導入指導マスター講座」 講師：岩瀬洋子
〔日時〕第3回目 11月15日（木）9：45～12：00
第4～第7回（全て木曜日）：12/13,1/17,2/14,3/14
〔会場〕東京芸術劇場第5会議室（池袋駅西口徒歩3分）
- 「アルフレッドピアノ認定講座」 講師：田村智子
〔日時〕第3回目 11月15日（木）9：45～12：00
第4～第7回（全て木曜日）：12/13,1/17,2/14,3/14
〔会場〕東京芸術劇場第7会議室（池袋駅西口徒歩3分）
〔問合せ・申込み〕ミュージックキー
Tel/Fax 0559-89-3900（担当：植松）

ここだけの NEWSなCD

憂愁のノクターン フジ子・ヘミング

ビクターエンタテインメント

VICC-60194 ¥3,045



諫山 隆美

(いさやまたかよし 音楽評論家)

最近、こんな質問を受けることがよくあります。「フジ子・ヘミングさんは、うまいんですか?」「フジ子・ヘミングさんをどう評価していらっしゃいますか?」残念ながら私は、今のところフジ子さんのリサイタルには行ったことがなく、ある音楽雑誌で執筆する機会を得たCDでの評価をお話しています。「若いピアニストのような正確な技巧は衰えているかも知れませんが、大きなフレーズの魅力は素晴らしいと評価しています。」

今や、日本で最も人気の高いピアニストであるフジ子・ヘミングさんは、ベテランの年齢になってからステージに立つようになったピアニストですから、若いピアニストとかなり違った演奏をします。簡単に言うてしまえば、若いピアニストが正確な技巧で演奏するのに対し、フジ子さんは別な特徴で魅了するわけです。その分、技巧の正確さは劣っているかも知れませんが、そのあたりが耳について、うまいのかどうか疑問を抱く方がいらっしゃるでしょう。

コンサートで聴く音とCDで聴く音はかなり違ってしまいますが、それでもフジ子さんの音はかなり魅力的な「吸引力」のようなものを持っています。耳を患った過去に、音を聴こうとする執着からその音色は生まれたものかも知れません。さらに、どの曲もかなり遅めのゆったりとしたテンポをとっていますが、その分大きなフレーズが生き生きと流れ、実にたっぷりとした音楽に仕上がっています。細かい音符を素早く弾くことの多いピアノにとって、せせこましい音楽になりがちな曲も、ゆったりとリラックスしながらしかし感動はそれ以上のものをもたらしてくれています。

ピアノの専門家を目指す学生さんが表面だけを真似しても得るものはあまりないかも知れませんが、私たちがすっかり忘れてしまったピアノの楽しさや味わいといったものを思い出させてくれる、そんなピアノを披露しています。

諫山 隆美プロフィール

現在「ムジカノーヴァ」誌巻頭カラー演奏会評、「ショパン」誌演奏会評、「音楽現代」誌CD新譜批評に執筆する他、コンサートのプログラムノートやCD曲目解説などを手がける。1993年にはTAMARAらいふ21FM放送のクラシック音楽番組の構成・解説を、1998年より、(社)全日本ピアノ指導者協会主催「W.A.モーツァルトピアノ協奏曲全曲演奏会」のプレ・レクチャー担当、1999年より池袋東武カルチャースクールでピアノ音楽史の講座を担当して現在も続行中。2000年10月はワルシャワで開かれたショパン国際ピアノコンクールの全演奏をホームページ上で即日レポートを公開、大きな注目を浴びる。